

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 たらびあぼけつと早稲田教室

公表日 令和7年 3月 30日

利用児童数 28

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				・オープンスペースと個室があつていいと思います。 ・いつもきちん片付けられていて、子どもが思いっきり活動できるように配慮されている。 ・トランポリンなど子どもが楽しめる遊具がのびのび楽しむ工夫ができています。	整理整頓を徹底して、事故や怪我の無いようスペースを確保しております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1		1	・子ども一人に対し一人が専任で付いて頂き、人数が少なくても管理者も別に配置されている。 ・安定して職員の方が配置されておりベテランも多い印象 ・作業療法士さんがいらっしゃるとなおります。	・1対1の個別支援があるため、配置基準を遵守し運営しております。 ・配置基準以上の職員を配置しております。 ・研修等を通して療育の質の向上とともにチームワークを大切にご支援致します。作業療法士さんの配置は、検討課題と致します！	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13				1	おもちゃがカテゴリー分けされていて自ら片付けしやすくなっている。	ありがとうございます。今後も引き続き、クリーンでわかりやすい配置などに心がけて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	2	・綺麗にして頂いていると思います。 ・いつも掃除が行き届いている。	毎日、遊具、玄関から床など隅々をくビュラックスの希釈液をスプレーして吹き上げています。感染症対策には特に気を使っております。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	4	0	0	・担当者が変わっても、引き継がれている。 ・相談しても様子を見ましようで終わっている気がする。わからないのぢょつと他の先生にも聞いてみますねなどあればいいと思う。	・各専門職と、ご家族からのお話を毎回お伺いできるよう、時間を取っております。ご家庭のご様子などお聞かせください。 ・ご指摘のように、他の専門職の意見を踏まえたフィードバックが出来るようご支援致します。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	2	0	3		事業所が公開している支援プログラムを、みなさまに「事業所の提供する支援内容と合っている」と思っていたけるよう、そのうえで必要時には臨機応変に対応してまいりたいと思います。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	2	0	0	・子どもの伸ばしていくべきところを的確に捉えて計画に含めて頂いている。 ・家庭で困っていることや療育に通っている中で出てきた問題など細かく分析し生活に活かせるような計画が立てられておりとてもありがたいと思っています。	ありがとうございます。お子様のご成長を共に見守らせて頂いて、職員一同幸せに思っております。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	0	2		ガイドラインに添って、支援計画を立てるようしております。その他、日々の面談や職員間での共有を参考に児童発達支援計画を作成しております。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	2		職員間で支援計画を共有し、よりよい支援に繋がっていきます。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	0	2	ある程度マニュアルがありつつ、先生がそれぞれ独自に工夫する事で、マンネリを防いでいると思う。 ・子供の成長に合わせてできたところはアップデートしてもう少し高度なことができるようになるような工夫がされている。	ありがとうございます。引き続き、心を込めてご支援させていただきます。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	4	7	・新宿区や近隣の保育園の情報をもう少しと入手してほしい。	近隣保育園等につきまして、連携を図り情報のご提供が出来るよう致して参ります。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	2	0	0		自分ではなかなか、過程を具体的に想像したりするのが難しいので、なるほどと思いました。「できるようになるとよいこと」を具体的に示してもらうのは家族にとっても良いと思います。	ありがとうございます。引き続き、心を込めてご支援させていただきます。	

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	2	0	0	「児童発達支援計画」は、(原案)(本案)を作成して、保護者の皆様にご覧いただきながら、修正を踏まえた計画本案を作成しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	0	3	・メールによる動画配信は試聴時間が取づらい(見れていない) ペアレントトレーニングとして、動画の配信を行っておりますが、集まってできるよう今後企画していきたいと思いをします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	2	0	0	・連絡ノートと、毎回の面談は大事ななと思います。 ・遅めにお迎えに行ってしまうのもあるが、もうちょっと面談の機会を増やし子供の相互理解をしていって一緒にやっていきたいと思います。 ・フィードバックの際に家庭や保育園での状態を共有するような場が設けられている。 ・面談の数を増やす。 連絡ノートでは、当日行ったご支援内容を記載し、その日ごとのご家族との面談でご説明させて頂いております。今後も引き続き、面談の機会を増やし、ご一緒にお子様の成長のお手伝いをさせて頂きたく存じます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	1	1	日々のサポートタイムを実施しておりますが、それ以外でも必要に応じ面談を実施しております。今後、更に面談のご希望にお応えできるようご支援してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	2	0	0	必ず行う、日々のフィードバックを参考に、お子さんの成長を見守り、時々に合わせてご支援を行っております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	5	5	現状は、父母会や保護者会などの開催を行っておりませんので、今後の課題です。フィードバックの時間帯では、きょうだいの一緒に参加していただいております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	3	1	3	質問や相談など、職員間で共有し終礼などの会議を行っております。今後も、迅速に対応できるようにしていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	2	日々行われるご家族へのフィードバックで都度ご支援内容のご説明と、お困りごとのお伺い出来るよう環境を整えご支援致しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	3	0	2	てらびあ通信やSNS、ホームページを通じ発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	4	0	2	個人情報の保管には、鍵のかかるキャビネットを使用し、「個人情報保護研修」等で職員に周知しております。慎重に対応して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	1	7	委員会の設置と、研修会・マニュアルの配備をしております。防災訓練については、年2回を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1	0	12	防災訓練は、年2回実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	8	ヒヤリハット報告書をはじめ、安全確保の為に会議を開催しております。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1	0	7	事故等の発生には、当日随時にご連絡を取り合えるようご支援して参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	1	0	0	安心感をもって通所していただけるよう、整理整頓・清潔はもちろんのこと、気持ちの良い事業所でありつづけるようご支援して参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1	1	1	皆様が楽しみに通所していただけるよう、細心の心遣いをご支援して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	3	0	0	・このような支援は非常にありがたく、子供の今又は将来の「生きづらさ」が確実に軽減していると思います。親の私も、精神的に大変楽になりました。 ・記載した意見を反映してもらえますとうれしいです。今後ともよろしく願っています。 ・たくさんのご意見・ご感想をありがとうございます。頂いたお言葉を励みに、ご支援に努めたいと思います。 ・ご意見は、随時承りたいと思っております。今後ともよろしく願っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		てらびあぼけっと早稲田教室				公表日	令和7年 3月 30日
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	個室、大部屋を備えており、トイレは大人と子供を分けた2か所利用可能です。面談室も適切なスペースを備えています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6	2	国の定める基準以上を満たし適切に配置しておりますが、なお加配になるよう職員募集活動を継続しております。	職員同士のチームワークがはかりやすいよう、環境を整えて参ります。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8	0	児童にもわかりやすいよう、写真を貼るなどして、片付けしやすいよう工夫しております。室内に段差は無いため安全な配置となっております。	玄関のガード部分に段差があるため、入退室においては、職員が必ず見守り事故の無いよう配慮しております。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8	0	日々の清掃では、ビュラックスの希釈液を用いて遊具から床までを清掃しております。衛生には特に配慮した清掃を行っております。	引き続き、整理整頓と衛生環境を整え、安全安心な室内環境を整えて参ります。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8	0	個別の部屋 3部屋 と大部屋を備えています。	引き続き、整理整頓と衛生環境を整え、安全安心な室内環境を整えて参ります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	朝礼・終礼にて個別のカンファレンスを行い、記帳することと、全職員にて必ず確認し支援に活かしております。	今後も職員間の情報共有ができる環境を整え支援環境を最適に整えて参ります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	アンケートの実施及び、連絡帳での情報共有、送迎時(特にお迎え時)のサポートタイムにてご意向やご家庭での様子を伺い最適なご支援に繋がるよう努めています。	今後も職員間の情報共有ができる環境を整え支援環境を最適に整えて参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	朝礼・終礼にて、連絡事項の周知及び記帳することと、全職員にて必ず確認し支援や業務改善に活かしております。	今後も職員間の情報共有ができる環境を整え支援環境を最適に整えて参ります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	第三者による評価は行ってないが、てらびあぼけっと本部による内部監査や指導を受けております。	本部の指導に加え、内部及びご家族のご意見を踏まえ業務改善に尽くしてまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	てらびあぼけっと本部による研修及び、内部研修を定期的及び随時に行っております。	外部研修などの機会を設け、積極的に従業員同士の共有を促し、よりよいご支援につなげて参ります。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	支援プログラムについて、作成及びてらびあぼけっとホームページでの公表を行っている。	今後も、当該プログラムの作成及び公表を周知し、適切な支援に繋げて参ります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	契約時面談にての聞き取りや、その後のせらびーのーと等の情報、サポートタイムの情報などを適切に判断し、児童発達支援計画及び特別支援計画を作成し、アセスメントを行うことで適宜修正し支援している。	今後も、支援計画を周知し、適切な支援に繋げて参ります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	終礼時に行う、個別支援の内容等をもとに、計画を作成し、最善の方法を導き出し、支援にあたっている。	全職員が、これに関わっていることをより分かりやすく、周知し改善につなげていくようご支援致します。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	児童発達支援計画は、個別ファイルにて保管されており、職員には常時開示して計画内容を閲覧できる状況である。	個人情報の流出にならないよう、キャビネットには施錠をするようにしているが、新しく入職した職員にもわかりやすく、手に取りやすい環境を整え情報の共有をする必要がある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	標準化されたツールを用いてフォーマルなアセスメントを行っている。外部のアセスメントとして知能検査や発達検査の結果も参考にしている。	日々の行動観察については、せらびーのーとにて確認が取れる環境を整えている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	事業所内での相談と、保育園などとの連携を行い、具体的な目標設定にしている。	今後もガイドラインを遵守し、個々のニーズやご家族のお困りごとに応えられるよう、支援内容を検討し計画を立てていきます。	

の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	目標達成について、職員間での話し合い（終礼）を行い、必要に応じてプログラムの修正を行っている。	今後も、チームで検討し立案を行っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	教材や遊具などは、適切に入れ替えや、同移入を行い固定化しないよう工夫している。	固定化せず、その児童の状況に合った、楽しく学べる環境を整備していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	当該児童の様子により、個別活動と集団活動を組み合わせ、支援計画を作成し支援を行っている。	今後も、集団活動では、すべての児童が参加できるよう工夫をして支援環境を整えて参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	朝礼で当日の支援担当や内容を伝え、全職員が当日の利用者の把握ができるように行っている。	小集団での役割を明確化して、それぞれの役割を全うできるよう環境を整え支援しました。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	日々の終礼を通じ、当日の支援内容を個別に報告しあい、周知できるようにしている。またヒヤリハット報告書も当日のうちに記載できる環境が整っている。	引き続き、周知・共有できる環境を整えて参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々の終礼内容は、必ずオンタイムで記録を取り、当日欠勤の職員にも当該記録は閲覧義務としている。	引き続き、周知・共有できる環境を整えて参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	ご家族からのご要望と職員間からの意見を踏まえ、定期的にモニタリングを行い必要に応じた見直しを行っている。	引き続き、周知・共有できる環境を整え適切な見直しにつなげて参ります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	当該児童の様子に精通した職員と、児童発達支援管理責任者が参画している。	全職員にも当該会議内容を周知・共有できる環境を整え適切な見直しにつなげて参ります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	協力医療機関等との連携体制を整えている	引き続き、体制を整えていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	今後発生する移行について、職員間で共有し、行っていく。	引き続き、体制を整えていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	就学時の移行に関する連携を行っている。事業所内での様子など、就学先の学校への共有を行っている。	引き続き、体制を整えていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	現段階では地域の児童発達支援センターからのスーパーバイズや助言等を受ける機会はないが、地域の児童発達支援センターとの連携を図っている事と、本部のSvからの支援を受けている。	引き続き、連携を図っていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	現段階では、こども園や幼稚園との交流事業を行っていません。	通所児童が通う保育園、幼稚園とは連絡を取り合っておりますが、交流事業を行っておりませんので、今後の課題です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	ファミリーサポートを通じ、都度ご支援内容のご説明と、お困りごとのお伺いが出来るよう環境を整え支援しております。	引き続き、話しやすい環境を整えてご支援致します。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	現段階では、ご家族等の参加できる研修会は行っていませんが、ファミリーサポートを通じ、お困りごとのお伺いが出来るよう環境を整え支援しています。	今後、ご家族が参加できる研修や、情報共有の場を設けられるよう、企画していきたいと思っております。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に十分なお時間を頂いて行っております。	引き続き、丁寧にご案内をしていきたいと思っております。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	原案の作成から、ご意見を頂くようご意向を確認する機会を設けています。	引き続き、丁寧にご案内をしていきたいと思えます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。	引き続き、丁寧にご案内をしていきたいと思えます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	ファミリーサポートを通じ、都度ご支援内容のご説明と、お困りごとのお伺いが出来るよう環境を整えご支援しております。	引き続き、丁寧にご案内をしていきたいと思えます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8	現段階では、父母会の活動支援等は行っており、今後の課題です。	現段階では、父母会の活動支援等は行っており、今後の課題です。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	お電話でのご相談なども受けております。都度、必要に応じて面談できるよう、予約も取りやすい環境を設定しております。	引き続き、丁寧にご案内をしていきたいと思えます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	ブログやインスタグラムなどに加えて、不定期便でmail配信しております。	継続的にご案内をしていきたいと思えます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	鍵付きのキャビネットに保管し、キャビネットからの持ち出しを必要時のみと制限しております。	今後も個人情報の管理を徹底してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	絵カードを貼るなど、視覚的にわかりやすいよう配慮するとともに、当該児童との情報伝達に関する職員間の共有をしております。	今後もわかりやすいように心がけて参ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	現段階では、行っておりません。	今後の課題として、地域に開かれた事業展開を目指して参ります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	マニュアルの配備及び、防火防災訓練を行っております。	今後も定期的に訓練等を行ってまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	BCPの策定と、非常時に備えた訓練や、備蓄品を揃えております。	備蓄品に関しては、保管状況を定期的に確認し、すぐに使えるような状態を確保してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	確認しています。	引き続き、安全管理を怠らず運営してまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	食事の提供は行っておりませんが、アレルギー等について聞き取りを致しております。	引き続き、安全管理を怠らず運営してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画の作成及び訓練等の安全管理に配慮しております。	引き続き、安全管理を怠らず運営してまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	こどもの安全に関して、ご家族等と連携が図られるよう配慮しております。	引き続き、安全管理を怠らず運営してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット報告書を作成し事業所内で共有しております。	報告書内容を、いち早く共有できる環境を整えておりますが、職員間でしっかり検討出来るよう継続してまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修会を行い、身体拘束についても周知するよう継続しております。	引き続き、研修等を怠らず運営してまいります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	身体拘束の原則を周知する研修会の開催を行っております。現状、身体拘束が必要な事案はございません。	引き続き、切迫性・非代替性・一時性を周知すると共に、研修等を怠らず運営してまいります。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	てらびあぼけっと早稲田教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 7日		令和7年 3月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 7日		令和7年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている・衛生環境や整理整頓など部分では、ご満足いただいている事がアンケートで判った。	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたち自らが片付けしやすいよう、片付け場所へ写真を貼るなどし、元の場所に戻しやすいよう工夫している。 ・毎日の終了時の清掃では、靴箱や床などと遊具<ピューラックス>の希釈液をスプレーし、衛生環境には万全を期している。 ・感染症についてのマニュアルの配備及び周知掲示など 	日々の清掃を怠らず行い、衛生面・整理整頓を履行していく。より安心・安寧の環境づくりをしてみたいと思います。
2	「お子さんが安心感をもって通所している」について高評価だった	発語が無い場合でも、選択肢を作ってお自身に選んでもらったり、表情から読み取るように努めております。また、職員間にて当日の様子をすべて共有し、より良い支援につなげております。	更に安心感をもって通所していただけるよう、ご家族との連携(サポート)を強化し、職員間で情報を共有する事に多くの時間を使っていきたい。
3	ファミリーサポートを通じ、都度ご支援内容のご説明と、お困りごとのお伺いが出来るよう環境を整えご支援しております。	毎回の療育終了時、ご家族との面談時間を取っており、当日のご支援内容のご説明やご家庭でのご様子やお悩み事をお伺いしております。	引き続き、サポートタイムにて綿密な協同体制を整え、さらに面談の時間などを別途取っていくように致します。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会、きょうだい会などの開催が出来ていない。	時間と場所の確保が難しいなどの要因で開催できていなかった。	今後定期的に行えるように話し合ってみようと思います。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が取れていない	個別案件については、保育園・幼稚園・今後の就学先との連携が出ていますが、園同志の交流となると時間調整や開催場所等についての確保が難しいなどの要因で、開催できていなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所等の都合などもあり、現状難しい状況ではあるが、前向きに検討していきたい。 ・個別案件についての連携は、今までとおり行っていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPや防災訓練等について、ご家族への情報発信が出来ていない。 ・事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われてること等が周知されていなかった。 	ご家族への情報発信として行っている中で、療育に関することに関する偏った情報発信となってしまう。	定期的な発信しているmailなどに、当該内容も含めて広く周知するように改善する。